

## 平成19年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市楠防災会館
所在地	四日市市楠町南五味塚292番地1
指定管理者	<p>名称 楠町商工会</p> <p>代表者 会長 小方 修一</p> <p>所在地 四日市市楠町南五味塚60番地</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>楠総合支所 振興課</p> <p>TEL : 059-398-3111</p> <p>E-mail : kusu-shinko@city.yokkaichi.mie.jp</p>

### ■ モニタリングの総合コメント

楠防災会館は、市民の地域社会づくりを推進するとともに、災害時の避難施設として利用することを方針として設置されています。この方針を踏まえて管理運営を行ってはいますが、利用者数、利用率ともに平成18年度と同水準の実績であったことから、次年度に向けて、どのように利用者を増やすかが課題です。施設の維持管理は適切に行っていることから総合的に判断して問題はないと評価します。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施しています。

自主事業については、利用者から好評を得ました。

経費については、全体では当初の計画より維持管理経費が超過する結果となりました。次年度は施設の利用率アップと民間のノウハウをフルに活かした経費の削減により、より充実した事業運営を期待します。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

当施設の目的である市民の地域社会づくり推進とともに災害時の避難施設として、誰にも開かれた安心して利用できる施設管理が望まれます。

事業面では、利用率の伸び悩みから増加に導くための利用者の誘導が必要であり、今後の検討課題です。また、自主事業である防災事業を中心とした地域交流事業についても利用者数が増加するよう指導していきます。施設管理面では、一部設備の老朽化に伴う利用者からのマイナス意見があり、それが利用率の上まらない要因のひとつではないかと考えられます。必要の度合いに応じて設備修繕等についても協議します。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

市民の文化活動、交流活動等地域社会づくりの推進と災害時の避難施設として利用することを目的とした施設であり、施設の目的に沿った実施方針に基づいて適切に管理運営が行われていました。

施設運営や利用者への対応については、アンケートでも満足と示されているように、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づいて運用していました。

施設の効用については、平成18年度水準を維持するに止まり、利用者を増やすための事業の推進が必要です。

管理経費については、管理コストが当初計画を上回り、結果的に収支はマイナスとなりました。次年度以降、利用率ひいては利用料収入をあげるためにPR方法等を検討する努力が必要です。

### 業務内容

#### 機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

地域住民の社会づくりや施設の大きな役割である防災意識の向上のため、事業計画に則って事業運営に関する業務や自主事業を適切に実施していました。

利用者を誘導するためのPRが今後の検討課題です。

#### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営していました。

施設の維持管理についても毎月、事業報告書にて提出され問題なく実施していました。

#### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

貸館料金や付属設備利用料等の収入や、施設の管理費等の支出について適正に処理し、領収書や経理関係調書も整理されていました。

施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

#### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

緊急時の対応における意識は高く、火災等の訓練については消防計画どおり年2回実施していました。

個人情報保護については制定した規程に基づいて犯罪防止・秘密保持に努めています。

損害賠償責任保険にも加入しています。

#### 社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、障害者利用についての対応、廃棄物の分別化について、それぞれ創意工夫をして実施していました。

### 事業収支

#### 経済性

事業収支について、収入については利用者数の増加低迷により、平成18年度水準に止まりました。一方で、支出においては全体的には、管理経費の影響が大きく、結果赤字となりました。次年度以降も利用者数をいかに増やすかが課題です。

### 団体の経営状態

#### 経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について決算書を分析した結果、継続性には問題ないと判断しました。

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成19年度

施設名	四日市市楠防災会館		所管課：振興課
所在地	四日市市楠町南五味塚292番地1		設置年月：平成17年2月 竣工) 昭和62年3月
設置目的	市民の地域社会づくりを推進するとともに、災害時の避難施設として利用するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市楠防災会館条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	820.00 ㎡ (消防車庫用地として)
		延床面積 (㎡)	303.14 ㎡ (消防車庫を除く)
		鉄筋コンクリート造 3階建 2階 ホール、他 3階 和室、他 ※1階部分は消防車庫(217.90 ㎡)	
	事業概要	市民向け会館施設の一般利用 災害時に避難所として使用	

## 2. 運営状況

	実施計画	実施内容 (事業報告書)
開館日数	360日	360日
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00
事業開催	地域交流事業 地域住民を対象とした防災 講習会	地域交流事業 地域住民を対象とした防災講習会

## 3. 利用実績

		実施計画	実施内容 (事業報告書)
延べ 利用者数	個人利用者数	H18実績 (4,275人)	4,310人
	事業参加者数	-	25人
事業参加者 実績	防災講習会	-	25人
稼働率	平均	H18実績 (12.4%)	13.0% (280コマ/2,160コマ)
	平日	-	13.9% (204コマ/1,470コマ)
	土日祝	-	11.0% (76コマ/690コマ)

#### 4. 事業収支

(単位：円)

		実施計画	実施内容 (事業報告書)
利用料金 収入	室		225,630
	附属設備	400,000	32,230
	その他		125
指定管理料		38,000	38,000
収入計		438,000	295,985
人件費		70,000	36,000
管理費	光熱水費	70,000	245,524
	保守管理費	70,000	142,468
	修繕費	30,000	0
	清掃費	60,000	58,968
	警備費	30,000	0
事務費	通信費	30,000	38,031
	消耗品費	28,000	1,071
事業費		50,000	1,200
支出計		438,000	523,262
収支		0	△ 227,277